

# GT-Map/Time データエ ディタマニユアル

---

Version1.0.0

2010/03/30

## 改定履歴

Version	Release Date	概要	担当者
1.0.0	2010年03月08日	初版	奥村

## 目次

1. はじめに.....	3
2. 動作環境(推奨動作環境) .....	4
3. インストール方法.....	6
4. アンインストール方法.....	7
5. 起動方法.....	8
6. 画面構成.....	9
6.1. メインパネル.....	10
6.2. メニューバー .....	10
7. 機能.....	11
7.1. TMM ファイル新規作成.....	12
7.2. TMS ファイルコンバーター .....	28
8. 付録.....	33
8.1. ワールドファイル.....	33
8.2. その他 TIMEMAP メタ情報 .....	34
9. 用語集.....	44

# 1. はじめに

## 1.1.1. 商標について

本書に記載されている社名・商品名およびロゴマークは、一般に各社の商標または登録商標です。本文中には、TM や®マークは記載していません。

## 1.1.2. 表記について

- Windows のダイアログボックスは、「ウインドウ」もしくは「ダイアログ」と表記しております。
- ダイアログなどのチェックボックス、ラジオボタンにポインタを合わせてクリックし、 または、 の状態にすることを「チェックする」と表記しています。
- ダイアログなどのチェックボックス、ラジオボタンにポインタを合わせてクリックし、 または、 の状態にすることを「クリアする」と表記しています。
- 特に注意する点には、「重要」「注意」「Note」「Notice」をつけて記述しています。
- Windows のバージョンによって、若干表示・表現が異なる事があります。

## 2. 動作環境（推奨動作環境）

表 2-1 推奨動作環境

項番	項目	内容
1	OS	Windows 2000,Windows XP(SP2),Windows Vista
2	ブラウザ	Internet Explorer 6 以降,Mozilla Firefox 2.0 相当もしくはそれ以降のバージョン
3	Java 実行環境	Java Runtime Environment(JRE) 1.6 以降のバージョン
4	Java ライブラリ	The Java Advanced Imaging Libraries (JAI) The Java Advanced Imaging Image I/O Tools

## 2.1.1. Java Runtime Environment のバージョン確認

[コントロールパネル] から [Java] のアイコンをクリックする。次に下図のようにダイアログが表示されたら、Java タブ(①)を選択する。

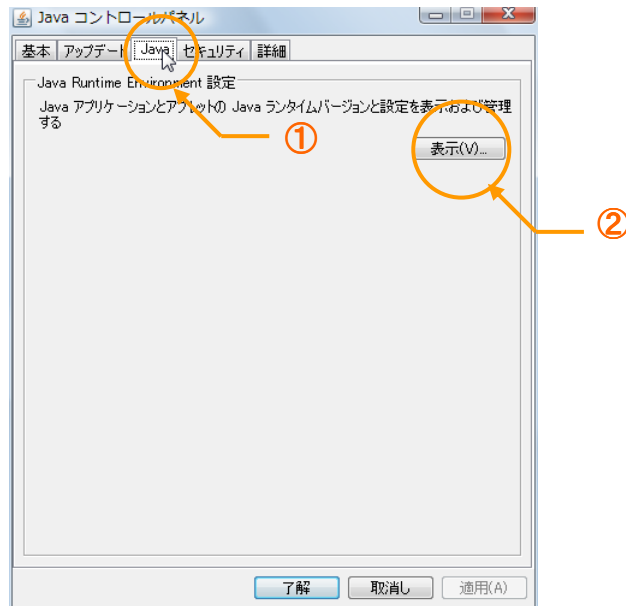


図 2-1 Java コントロールパネル

Java アプリケーションのランタイム設定の[表示]ボタン(②)をクリックする。

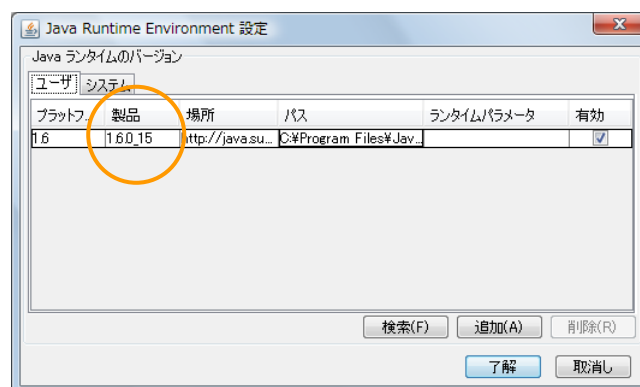


図 2-2 Java ランタイム設定

製品のところにバージョンが表示されます。

## 3. インストール方法

所定のサイトから GT-Editot.lzh ファイルをダウンロードしてください。

ダウンロードしたファイルを解凍してください。

**Note** ダウンロードの際には、IDとパスワードによる認証が必要になります。

## 4. アンインストール方法

ダウンロードしたファイルを解凍してできたフォルダを削除してください。



## 5. 起動方法

GT-Editor は、GT-Editor.cmd ファイルをダブルクリックすることによって起動され、初期画面が表示されます。

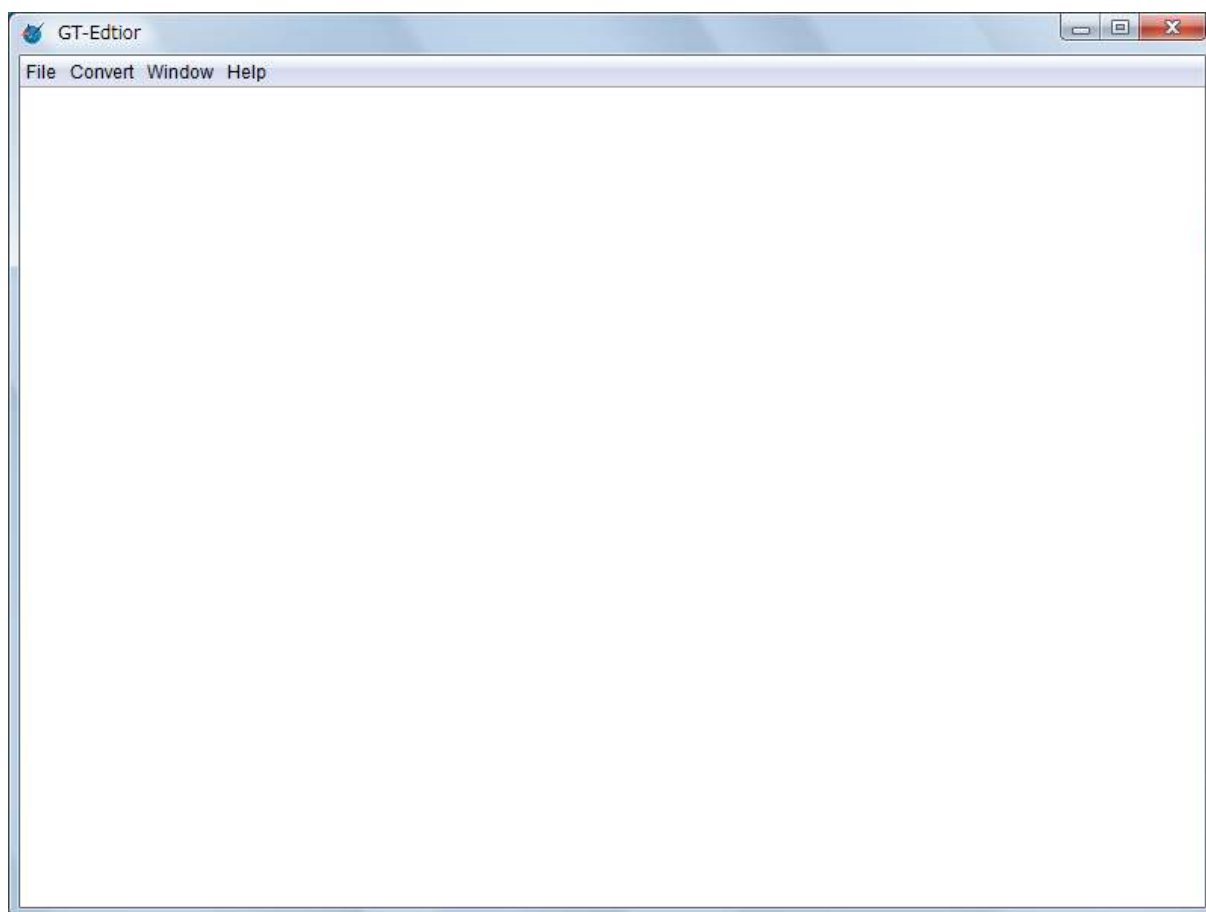


図 5-1 GT-Editor 起動画面

## 6. 画面構成

GT-Editor は、下図のような画面機能で構成されています。

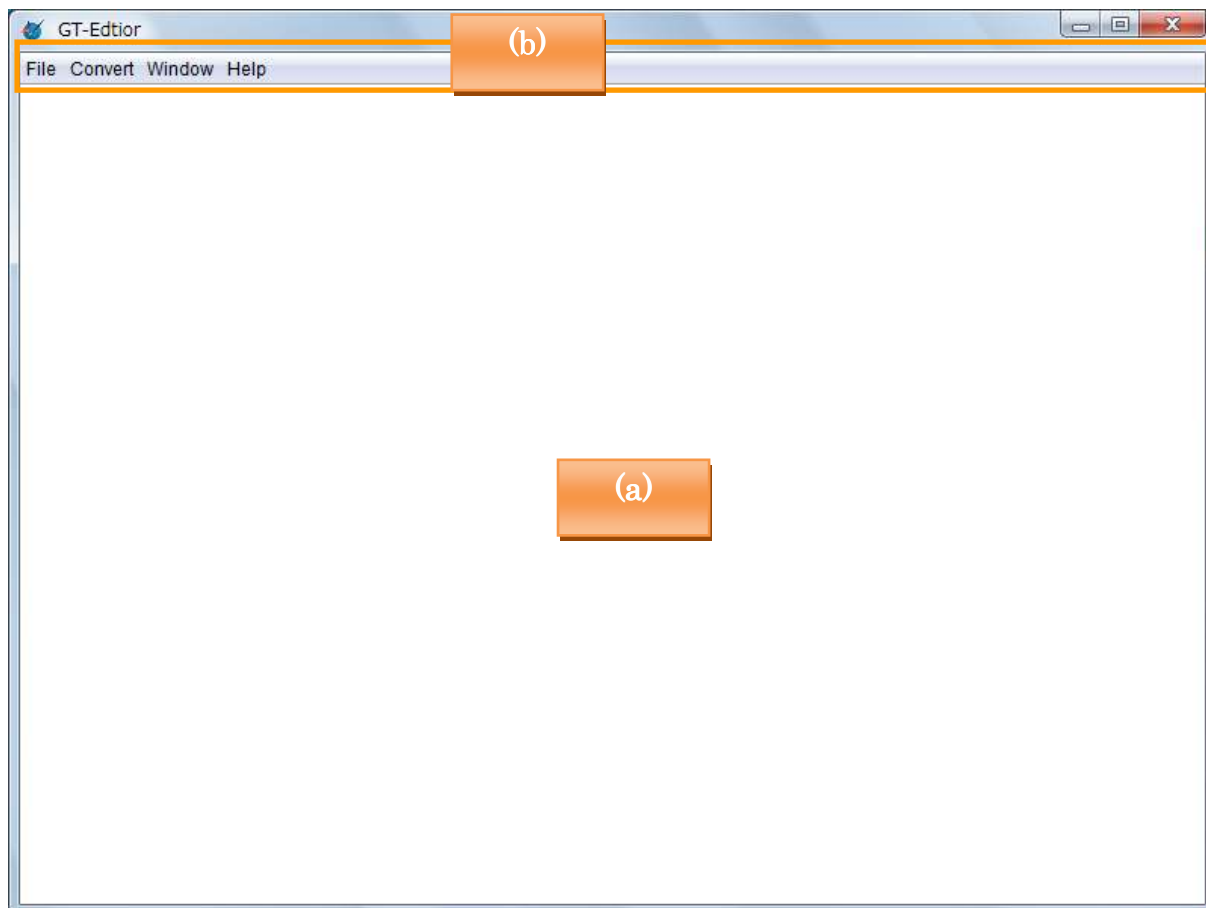


図 6-1 画面構成

表 6-1 画面機能

項番	機能	説明
(a)	メインパネル	ウインドウを表示します。
(b)	メニューバー	各機能を表します。

## 6.1. メインパネル

メインパネルは、各機能のダイアログを複数表示することができます。

## 6.2. メニューバー

メニューバーは、以下の構成になります。

**表 6-2 メニューバー構成**

項番	機能	説明
1	File	ファイル操作に関するメニュー
2	Convert	コンバートに関するメニュー
3	Window	表示されているウィンドウを整列など
4	Help	バージョン情報の表示

## 7. 機能

## 7.1. TMM ファイル新規作成

「File」メニューから「New」メニューを選択します。

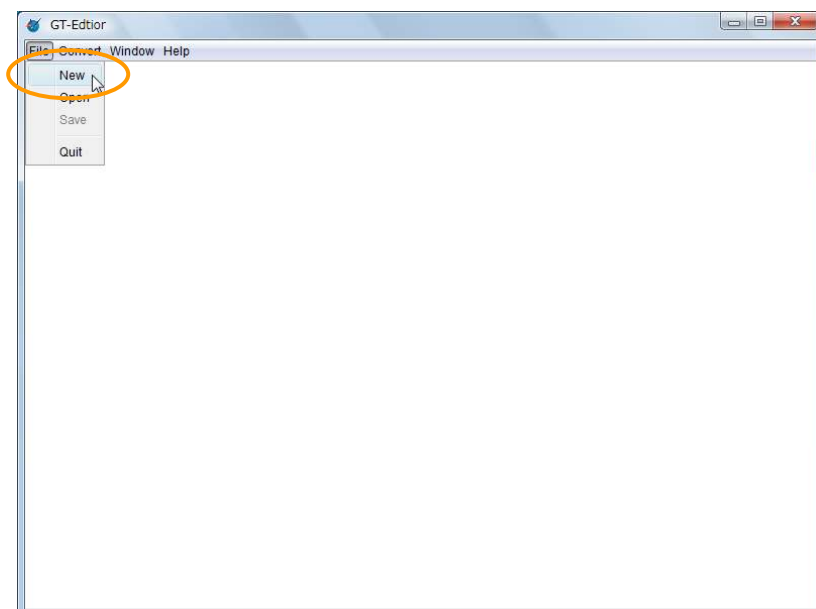


図 7-1 メイン画面

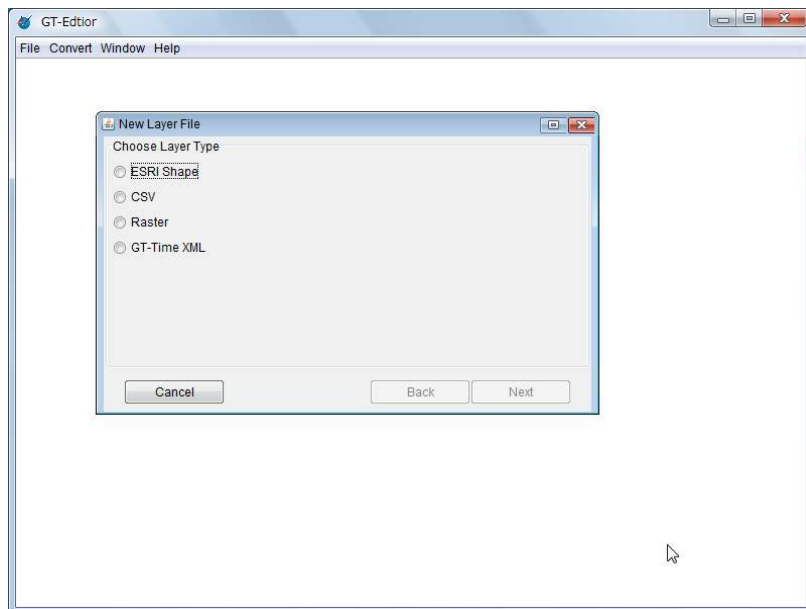


図 7-2 TMM ファイル新規作成

### 7.1.1. 画面構成

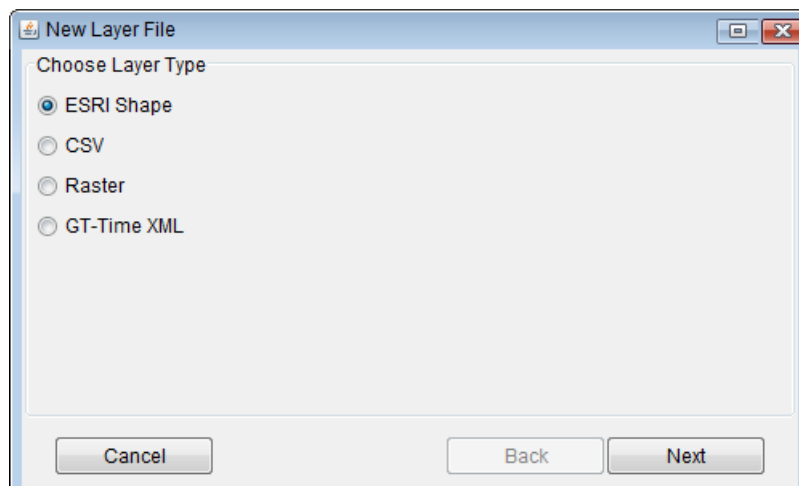


図 7-3 レイヤタイプ選択ダイアログ

表 7-1 レイヤタイプ選択ダイアログの機能

項番	機能	説明
1	ESRI Shape	Shape レイヤタイプ
2	CSV	CSV レイヤタイプ
3	Raster	画像レイヤタイプ
4	GT-Time XML	GT-Time 用 XML レイヤタイプ
5	Cancel ボタン	処理を中断してダイアログを閉じる
6	Back ボタン	前の状態に戻る(デフォルトでは選択不能)
7	Next ボタン	次の状態に移動 デフォルトでは選択不能。レイヤタイプを選択すると選択可能

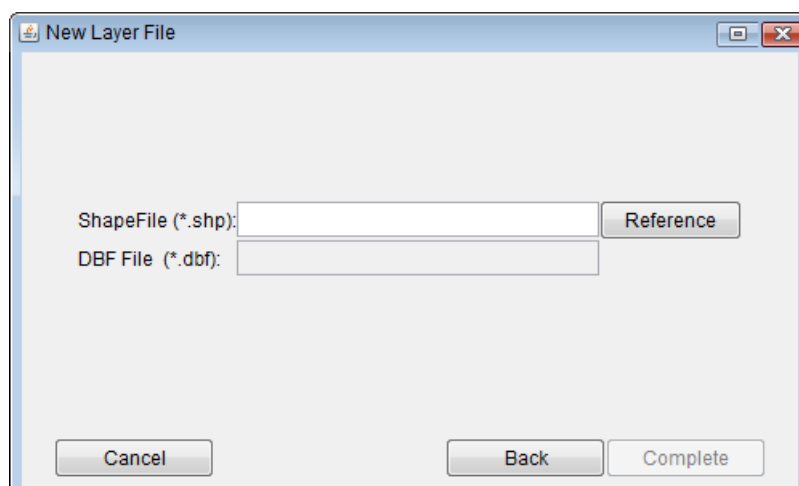


図 7-4 ファイル選択ダイアログ(ShapeFile)

表 7-2 レイヤタイプ選択ダイアログ(ShapeFile)の機能

項番	機能	説明
1	ShapeFile	SHP ファイルを指定
2	DBF File	DBF ファイルを指定 ShapeFile を指定すると自動的に DBF ファイルは選択
3	Reference ボタン	ファイルダイアログを開く
4	Cancel ボタン	処理を中断してダイアログを閉じる
5	Back ボタン	レイヤタイプ選択ダイアログに戻る
6	Complete ボタン	処理を完了してダイアログを閉じる デフォルトでは選択不能。ShapeFile を指定すると選択可能

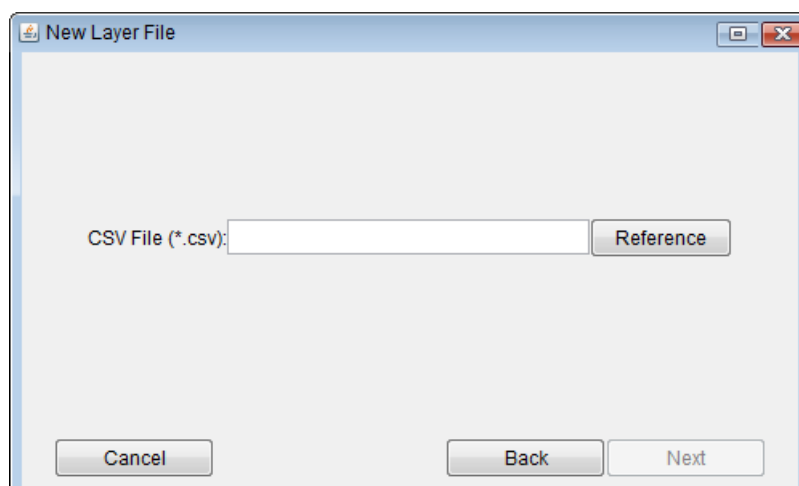


図 7-5 ファイル選択ダイアログ(CSV)

表 7-3 レイヤタイプ選択ダイアログ(CSV)の機能

項番	機能	説明
1	CSV	CSV ファイルを指定
2	Reference ボタン	ファイルダイアログを開く
3	Cancel ボタン	処理を中断してダイアログを閉じる
4	Back ボタン	レイヤタイプ選択ダイアログに戻る
5	Next ボタン	次の状態に移動 デフォルトでは選択不能。ファイルを指定すると選択可能



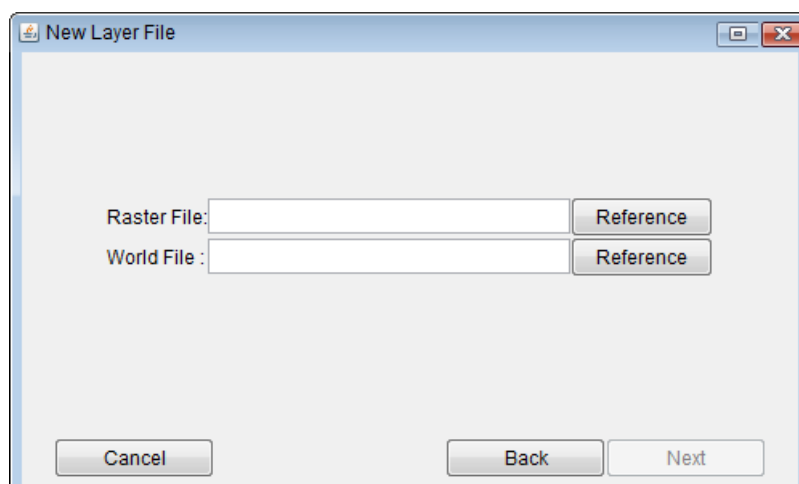


図 7-6 ファイル選択ダイアログ(ラスタ)

表 7-4 レイヤタイプ選択ダイアログ(ラスタ)の機能

項番	機能	説明
1	Raster File	画像ファイルを指定
2	World File	ワールドファイルを指定
3	Reference ボタン	ファイルダイアログを開く
4	Cancel ボタン	処理を中断してダイアログを閉じる
5	Back ボタン	レイヤタイプ選択ダイアログに戻る
6	Next ボタン	次の状態に移動 デフォルトでは選択不能。ファイルを指定すると選択可能

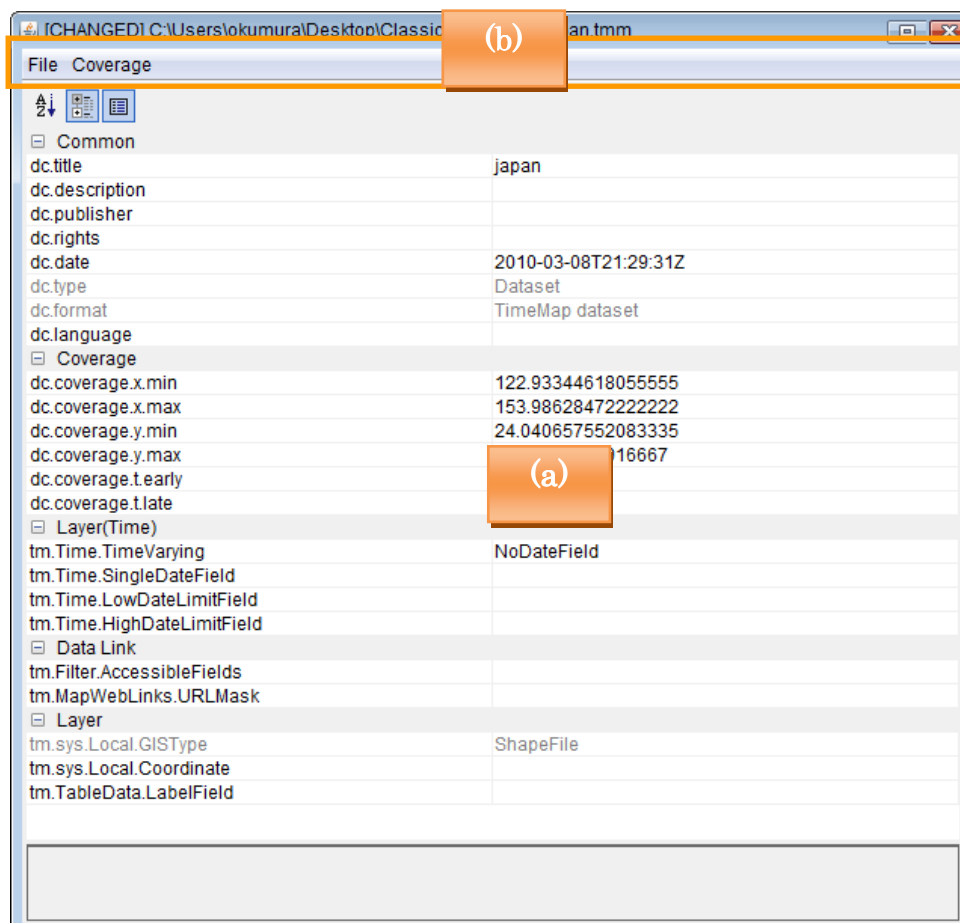


図 7-7 メタデータ(TMM)編集ダイアログの画面構成

表 7-5 メタデータ(TMM)編集ダイアログの画面機能

項番	機能	説明
a	メニュー	ファイル保存やカバレッジを自動算出
b	編集	メタデータの編集画面

表 7-6 メタデータ編集項目(Dublin Core)

項番	機能	説明	備考
1	dc.title	タイトル	
2	dc.creator	製作者	
3	dc.subject	テーマ	
4	dc.description	詳細	
5	dc.publisher	出版社	
6	dc.contributor	協力者	
7	dc.date	日付	
8	dc.type	タイプ	【固定入力】 “Dataset” 固定
9	dc.format	フォーマット	【固定入力】 “TimeMap dataset”又は
10	dc.identifier	識別子	
11	dc.source	ソース	
12	dc.language	言語	
13	dc.relation	関連	
14	dc.coverage	範囲	
15	dc.rights	権利	
16	dc.coverage.x.min	空間範囲	【自動補間】
17	dc.coverage.x.max		
18	dc.coverage.y.min		
19	dc.coverage.y.max		
20	dc.coverage.t.early	時間範囲	
21	dc.coverage.t.late		

表 7-7 メタデータ編集項目(拡張)

項番	機能	説明	備考
1	tm.Time.TimeVaring	時間範囲指定	
2	tm.Time.SingleDateField	単一時間フィールド	
3	tm.Time.LowDateLimitField	領域時間フィールド (下限値)	
4	tm.Time.HighDateLimitField	領域時間フィールド (上限値)	
5	tm.Filter.AccessibleFields	表示するフィールド	
6	tm.MapWebLinks.URLMask	ウェブリンクマスク	
7	tm.sys.Local.GISType	GIS タイプ	
29	tm.sys.Local.Coordinate	座標系	
30	tm.TableData.LabelField	マウスオーバー時 に表示するフィールド	

## 7.1.2. シェープファイルのレイヤファイル新規作成

レイヤタイプ選択ダイアログから、「ESRI Shape」をチェックして、「Next」ボタンをクリックしてください。

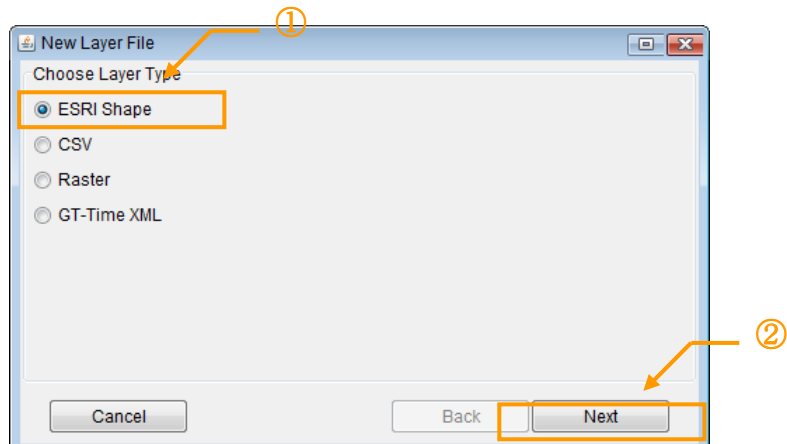


図 7-8 レイヤタイプ選択ダイアログ

対象となるシェープファイルを「Reference」ボタンをクリックして、ファイル選択ダイアログから指定してください。

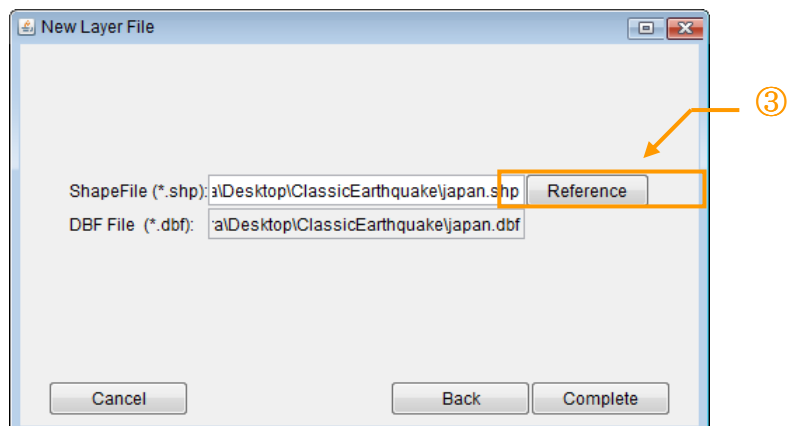


図 7-9 レイヤファイル選択

ファイルを選択したのち、「Complete」ボタンをクリックするとメタデータ編集ダイアログが表示されます。空間領域の部分と、GIS タイプが自動的に入力されますので、その他、項目を入力して、「File」-「Save」メニューを選択して、保存してください。

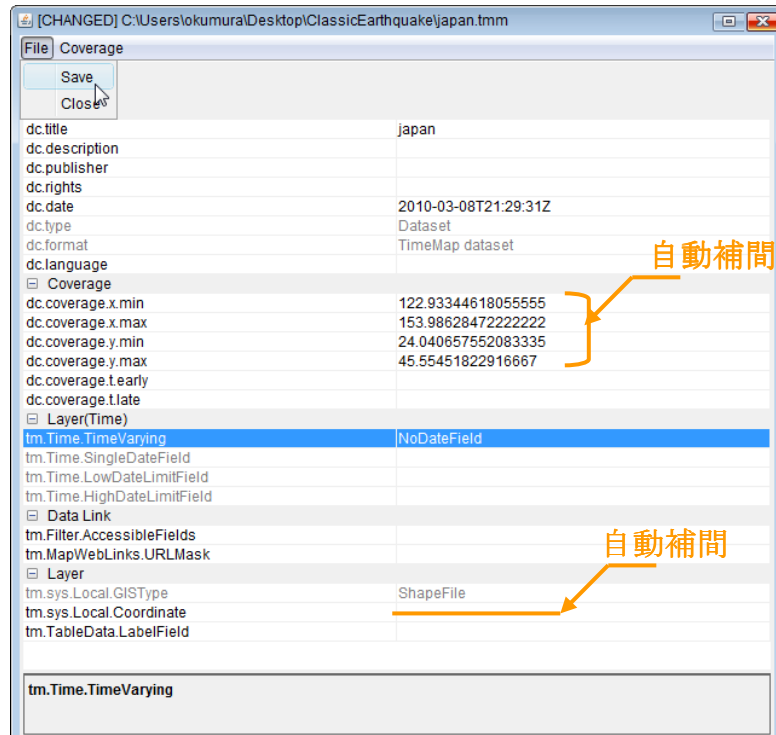


図 7-10 メタデータ編集画面

### 7.1.3. CSV ファイルのレイヤファイル新規作成

レイヤタイプ選択ダイアログから、「CSV」をチェックして、「Next」ボタンをクリックしてください。

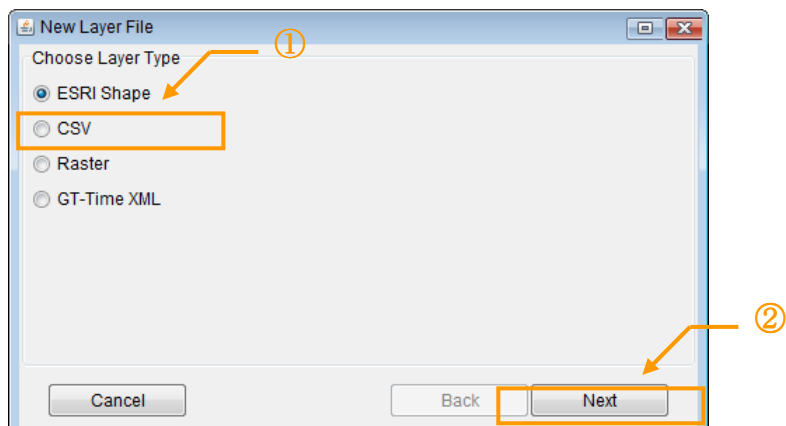


図 7-11 レイヤタイプ選択ダイアログ

対象となるファイルを「Reference」ボタンをクリックして、ファイル選択ダイアログから指定してください。

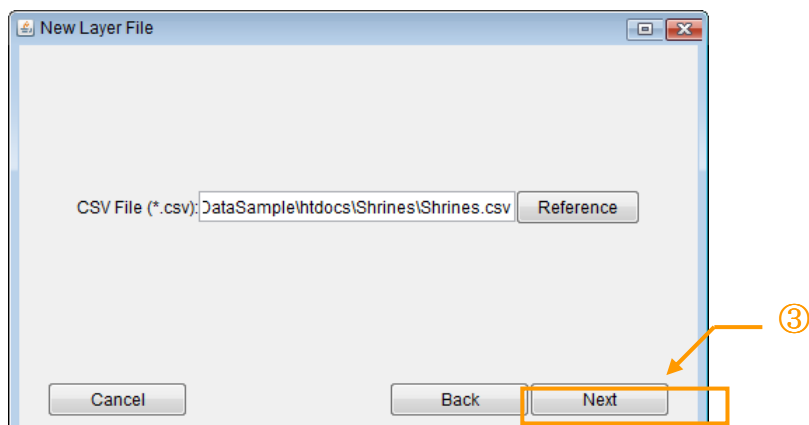


図 7-12 レイヤファイル選択

次に空間情報を示すフィールド名の X 座標と Y 座標を選択します。

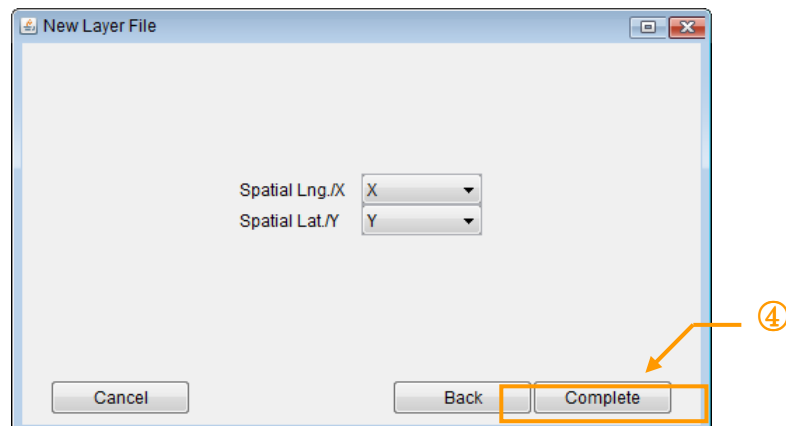
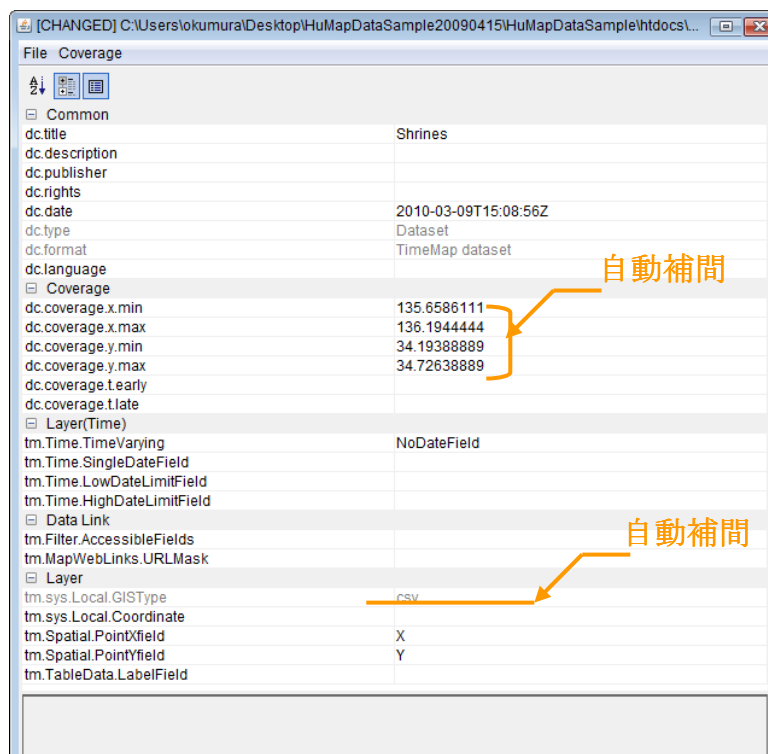


図 7-13 空間情報のフィールド指定

ファイルを選択したのち、「Complete」ボタンをクリックするとメタデータ編集ダイアログが表示されます。空間領域の部分と、GIS タイプが自動的に入力されますので、その他、項目を入力して、「File」-「Save」メニューを選択して、保存してください。





#### 7.1.4. 画像（ラスター）ファイルのレイヤファイル新規作成

レイヤタイプ選択ダイアログから、「Raster」をチェックして、「Next」ボタンをクリックしてください。

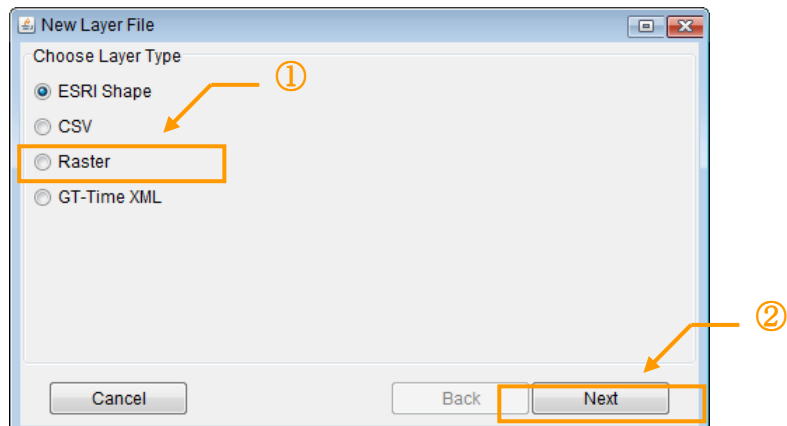


図 7-14 レイヤタイプ選択ダイアログ

対象となるファイルを「Reference」ボタンをクリックして、ファイル選択ダイアログから指定してください。

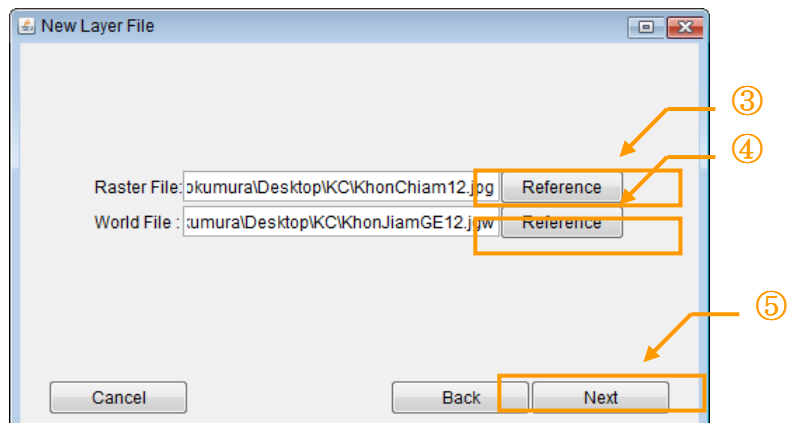


図 7-15 レイヤファイル選択

対象の参照座標系を選択して、「Next」ボタンをクリックしてください。

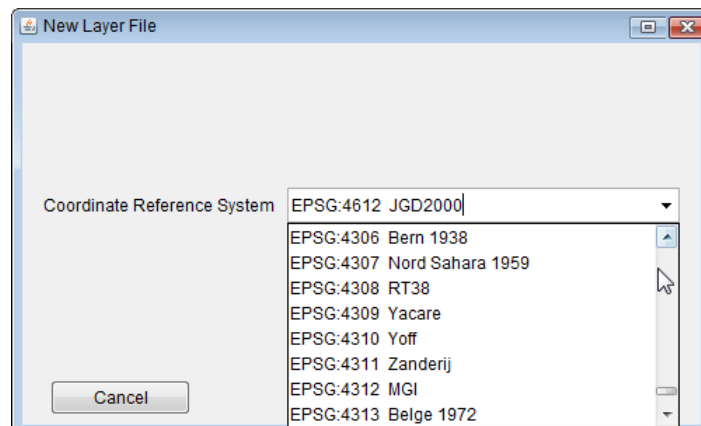


図 7-16 座標系の選択

ファイルを選択したのち、「Complete」ボタンをクリックするとメタデータ編集ダイアログが表示されます。空間領域の部分と、GIS タイプが自動的に入力されますので、その他、項目を入力して、「File」-「Save」メニューを選択して、保存してください。

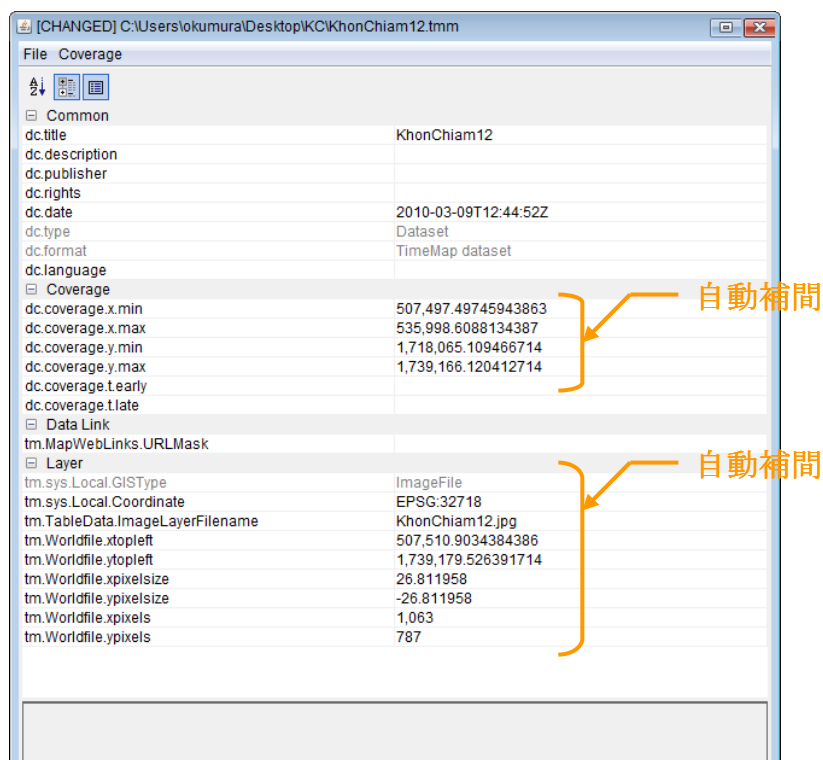


図 7-17 メタデータ編集画面

### 7.1.5. XML ファイルのレイヤファイル新規作成

レイヤタイプ選択ダイアログから、「GT-Time XML」をチェックして、「Next」ボタンをクリックしてください。

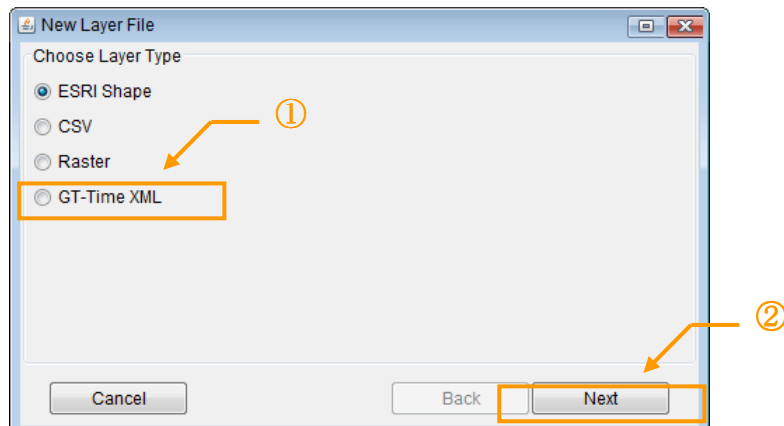


図 7-18 レイヤタイプ選択ダイアログ

対象となるファイルを「Reference」ボタンをクリックして、ファイル選択ダイアログから指定してください。

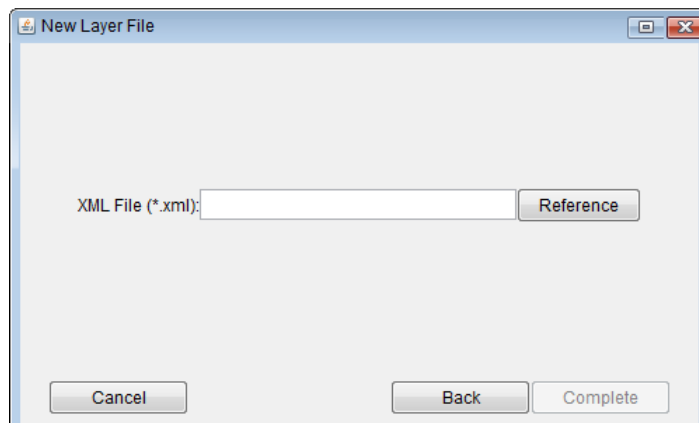


図 7-19 レイヤファイル選択

ファイルを選択したのち、「Complete」ボタンをクリックするとメタデータ編集ダイアログが表示されます。空間領域の部分と、GIS タイプが自動的に入力されますので、その他、項目を入力して、「File」-「Save」メニューを選択して、保存してください。

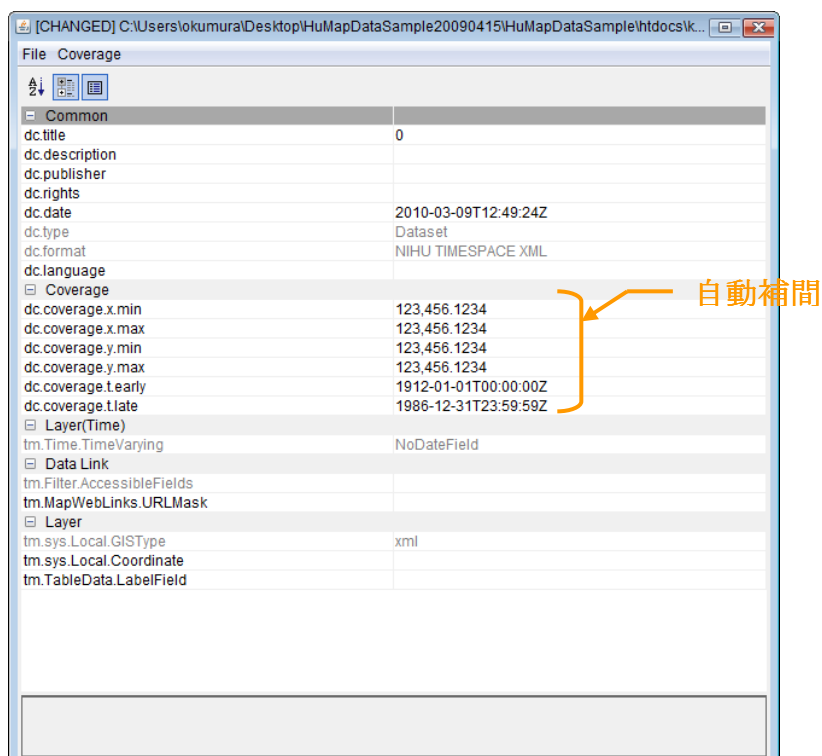


図 7-20 メタデータ編集画面

## 7.2. TMS ファイルコンバーター

「Convert」メニューから「TMS Converter」メニューを選択します。  
メインパネル上に TMS Convert ウィンドウが表示されます。

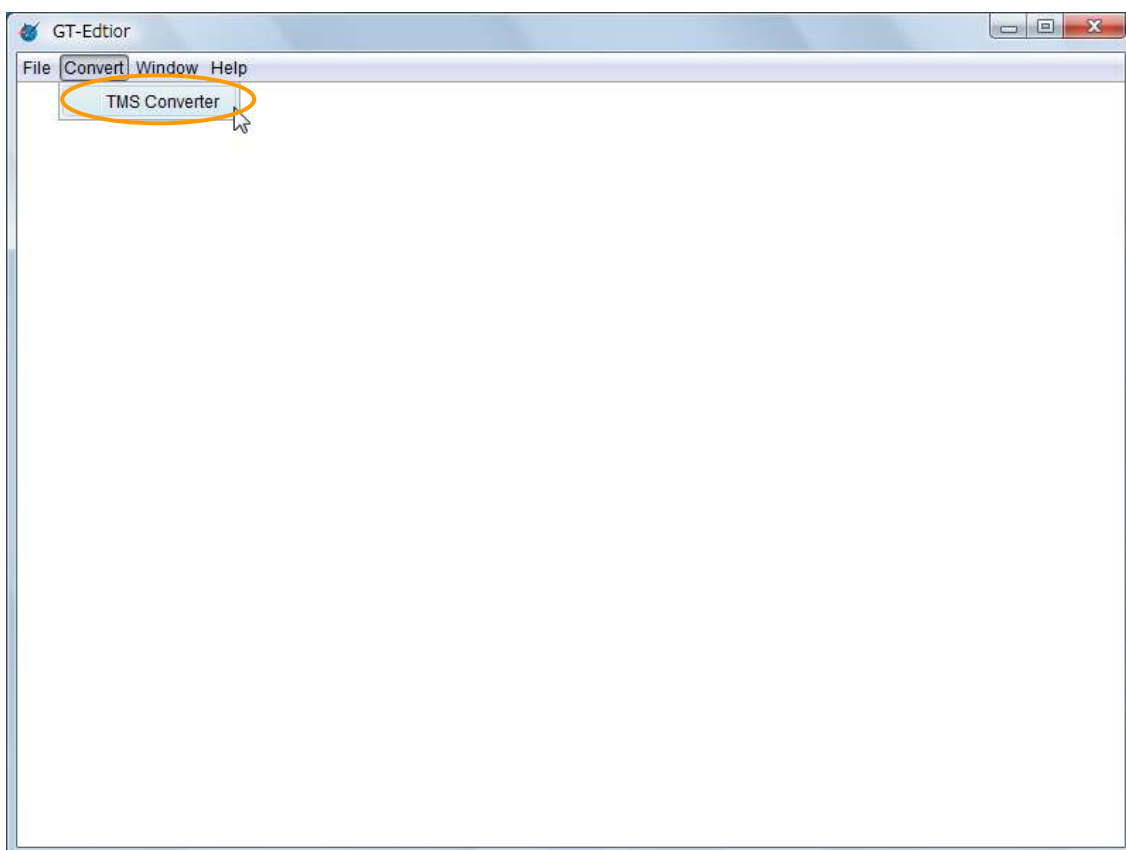


図 7-21 TMS Converter

## 7.2.1. 画面構成

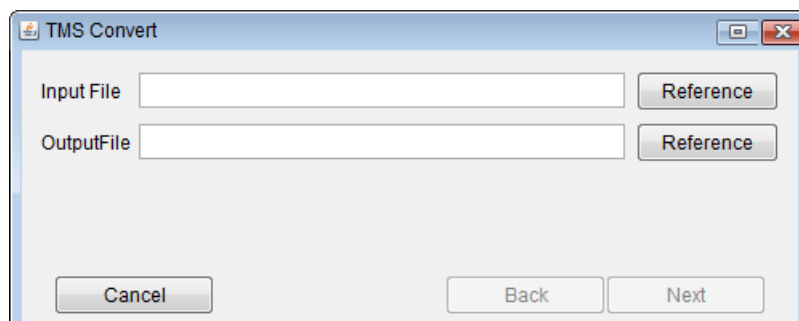


図 7-22 TMS Convert ウィンドウ

表 7-8 TMS Convert ウィンドウの構成

項番	機能	説明
1	Input File	変換するファイル
2	Output File	変換したファイルを保存するフォルダ。
3	Reference ボタン	ファイル・フォルダの指定
4	Cancel ボタン	ウィンドウを閉じる
5	Back ボタン	前の画面に戻る
6	Next ボタン	次の画面に戻る

## 7.2.2. 操作方法

変換したいファイルを選択するため、「Input File」の横にある「Reference」ボタンをクリックするとファイルダイアログが表示されるので、TMS ファイルを選択します。

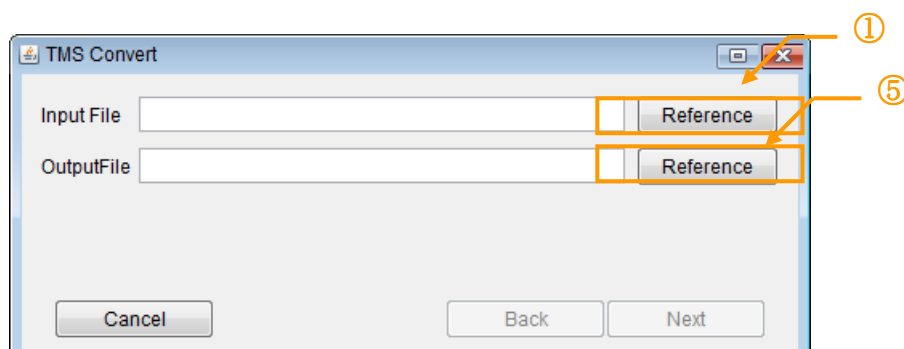


図 7-23 TMS Convert ウィンドウ操作説明

TMS ファイルを選択後、「開く」ボタンをクリックします。

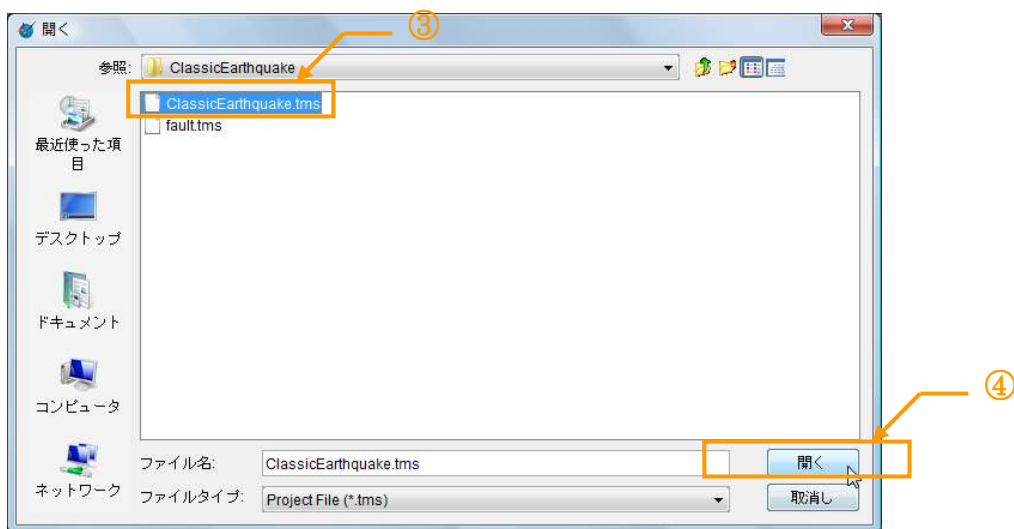


図 7-24 ファイルオープンダイアログ

次に、保存先のフォルダを指定します。標準では、指定されたファイルと同じカレントのフォルダになります。

**Note** 保存先に出力されるファイル名が存在する場合は、上書き保存されます。

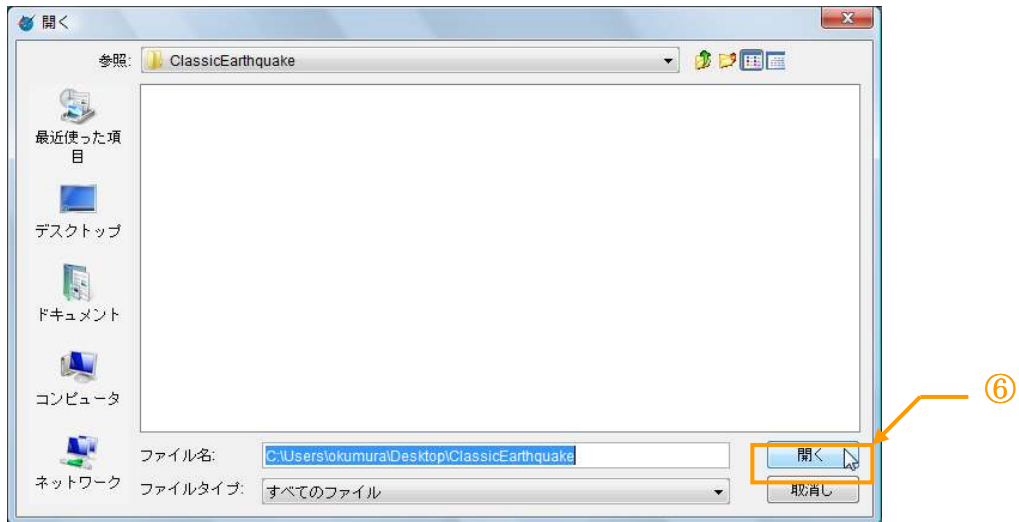


図 7-25 ファイルオープンダイアログ（保存先指定）

「Next」ボタンが有効になるので、「Next」ボタンを押します。

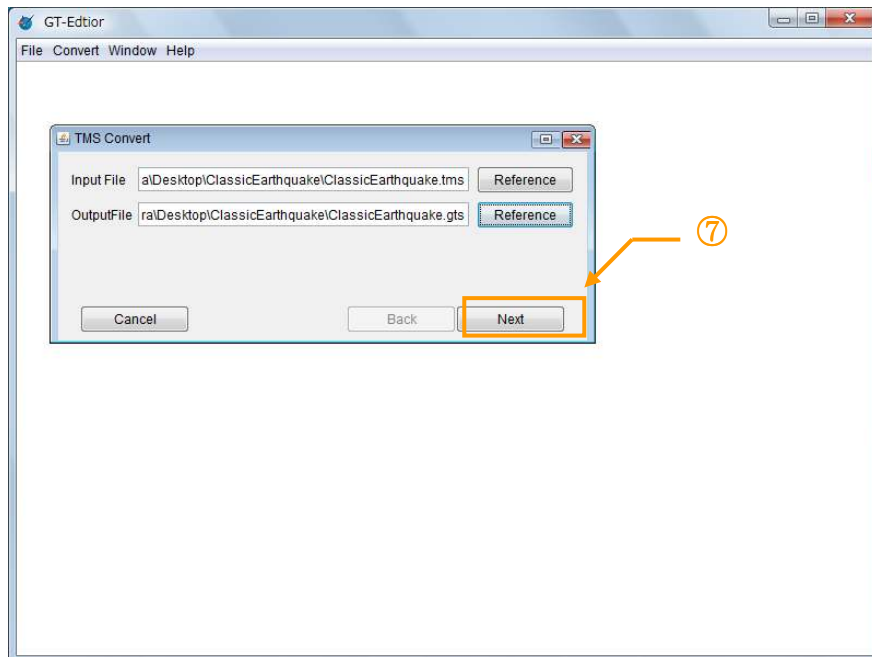


図 7-26 TMS Converter(次へ)



「Start Converting」ボタンをクリックすると変換開始し、プログレスバーが 100%になったら、変換完了です。

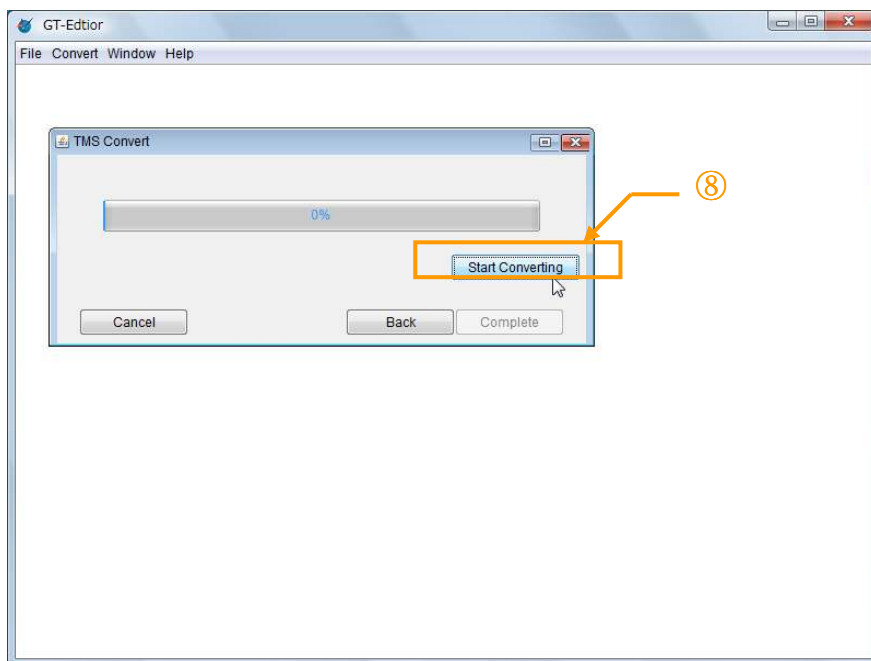


図 7-27 TMS Converter(変換開始)

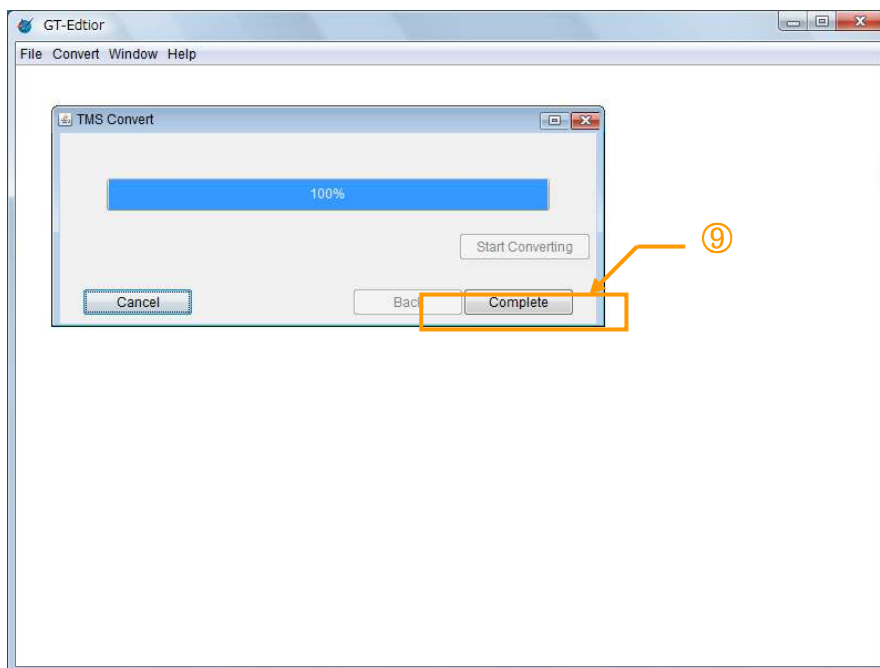


図 7-28 TMS Converter(変換完了)

## 8. 付録

### 8.1. ワールドファイル

通常、ラスタデータなどは地理的な座標を持たないため、そのラスタデータに関する地理的な情報を記述したのがワールドファイルである。

```
49.013115999999989
0.0
0.0
-49.013116000000039
524033.70250537083
1726970.4976187802
```

図 8-1 ワールドファイル(サンプル)

ワールドファイルの情報は、各行ごとに決められており、以下のようになっている。

表 8-1 ワールドファイルフォーマット

行数	概要
1	1ピクセル当たりのX方向の大きさ(地理座標)
2	回転条件
3	回転条件
4	ラスタデータの左上のX座標
5	1ピクセル当たりのY方向の大きさ(地理座標)
6	ラスタデータの左上のY座標

表 8-2 ラスタ画像形式とワールドファイルの拡張子

項番	ラスタ画像形式	ワールドファイルの拡張子
1	JPEG	*.jgw
2	GIF	*.gfw
3	TIFF	*.tfw
4	BMP	*.bpw

## 8.2. その他 TimeMap メタ情報

項番	項目	解説
1	dc.contributor	Dublin Core その他の貢献者 Dublin Core Other Contributor 【重複可】
2	dc.contributor.CorporateName	実質的に貢献した組織 Organization which has contributed substantially to intellectual content 【重複可】
3	dc.contributor.CorporateName.address	実質的に貢献した組織の住所・メールアドレス Address of organization contributing, include email 【重複可】
4	dc.contributor.PersonalName	実質的に貢献した人 People who have contributed significantly to intellectual content 【重複可】
5	dc.contributor.PersonalName.address	実質的に貢献した人の住所・メールアドレス Address of person contributing, including email 【重複可】
6	dc.coverage	Dublin Core カバレッジ Dublin Core Coverage – spatial and temporal extent of the intellectual content of the resource.
7	dc.coverage.Alternativemetadata	詳細なカバレッジメタデータを示した URL、メールアドレス The web address, email address or text for more detailed coverage metadata (e.g. FGDC) 【重複可】
8	dc.coverage.notes	カバレッジの特徴やデータの履歴に関する追加情報 Additional information related to the coverage characteristics and development history of the data 【重複可】
9	dc.coverage.PlaceName	Getty thesaurus of Geographic Name(TGN)に使用されている地理的な場所 Geographic area of resource, using Getty thesaurus of Geographic Names(TGN)

		<b>【重複可】</b>
10	dc.coverage.PeriodName	その分野に受け入れられる期間 Period specified in conventional nomenclature accepted by workers in the field. <b>【重複可】</b>
11	dc.coverage.spatial.aggregation	空間情報の単位 The spatial units by which the data is aggregated
12	dc.coverage.spatial.georeference	空間情報の地理参照系 The geographies (spatial units) used to locate data records in the resource
13	dc.coverage.spatial.resolution	空間情報のスケール(単位 m) Smallest distance resolvable on source map / coordinate determination
14	dc.coverage.temporal.aggregation	時間情報の単位 The temporal intervals for which data is aggregated
15	dc.coverage.temporal.interval	時間情報の範囲 Time intervals at which data is collected
16	dc.coverage.temporal.precision	時間情報の精度 Precision of time/date measurement of the data
17	dc.creator.CorporateName	制作した組織 Corporate or conference name for creator of material <b>【重複可】</b>
18	dc.creator.CorporateName.address	制作した組織の住所・メールアドレス Address of institutional body, including email <b>【重複可】</b>
19	dc.creator.Personal.Affiliation	個々の製作者の組織提携 Organization affiliation of individual creator <b>【重複可】</b>
20	dc.creator.Person.email	個々の製作者のメールアドレス Email address of individual creator <b>【重複可】</b>
21	dc.creator.Person.Name	Dublin Core 個々の製作者の名前 Dublin Core – name of individual <b>【重複可】</b>
22	dc.date.accepted	リソースの移転日付 Date of resource transfer
23	dc.date.acquired	リソースの取得日付 Date of resource acquisition

24	dc.date.available	リソースの有効日付 Date of availability of the resource
25	dc.date.created	リソースの作成日付 Date of creation of the resource
26	dc.date.datagathered	リソースに含まれるデータの収集日付 Date of collection of the data in the resource, may be range
27	dc.date.issued	リソースのリリース日付 Date of resource release
28	dc.date.lastmodified	リソースの最終変更日付 Date of last modification of the resource
29	dc.date.vaild	リソースの有効日付 Date of validity of the resource
30	dc.description.history	データセットまたはプロジェクトの作成履歴 History of creation of a dataset or project, created automatically 【重複可】
31	dc.format.size	リソースのサイズ The size of the resource ( disk storage occupied)
32	dc.format.specific	詳細なリソースのフォーマット仕様 Detailed resource format specification – enough to determine access requirements. 【重複可】
33	dc.identifier	Dublin Core リソース ID Dublin Core Resource Identifier 【重複可】
34	dc.publisher	Dublin Core 出版社 Dublin Core Publisher 【重複可】【必須】
35	dc.publisher.address	出版社の住所・メールアドレス Address of publisher, including email 【重複可】
36	dc.relation	Dublin Core 関係 Dublin Core Relation – identifier of a second resource and its relationship to the present resource
37	dc.relation.identifier	関連するリソース ID Identifier of related resource – type of relation identified by dc.relation.type 【重複可】

38	dc.relation.type	<p>関連するリソースとの間の依存関係の種別</p> <p>Type of relationship between related resource and present resource</p> <p><b>【重複可】</b></p>
39	dc.source	<p>Dublin Core ソース</p> <p>Dublin Core Source – information about a second resource from which the present resource is derived</p> <p><b>【重複可】</b></p>
40	dc.subject.domain	<p>ECAI ブラウザ向けデータセットのカテゴリ</p> <p>Thematic categorization of dataset for ECAI browser</p> <p><b>【重複可】【必須】</b></p>
41	dc.subject.specific	<p>件名の詳細</p> <p>Free text subject description, typically up to 6</p> <p><b>【重複可】【必須】</b></p>
42	dc.title.alternative	<p>省略タイトル</p> <p>Dublin Core – subtitles, translated and variant titles</p> <p><b>【重複可】</b></p>
43	dc.type.specific	<p>リソースの詳細なメディア種別</p> <p>Detailed media type of resource – more detail than dc.type</p>
44	ecai.expert	<p>ECAI エキスパート論評のためのルートタグ</p> <p>Root tag for ECAI expert commentaries – NOT ENTERED</p>
45	ecai.expert.commentary	<p>公開表示のときのコメント</p> <p>Authoritative comments for public viewing</p> <p><b>【重複可】</b></p>
46	ecai.expert.internal_notes	<p>ECAI チームの編集者または ECAI エキスパートの注意書き</p> <p>Authoritative notes from ECAI team editor or other ECAI expert, NOT FOR PUBLIC VIEW</p> <p><b>【重複可】</b></p>
47	ecai.notes	<p>注意書き</p> <p>Notes</p> <p><b>【重複可】</b></p>
48	ecai.team	<p>ECAI チームのもっとも興味のあるエリア</p> <p>ECAI team(s) most interested in area of dataset</p> <p><b>【重複可】【必須】</b></p>
49	system.data.registration	<p>登録フラグ</p> <p>Registration Flag</p>
50	system.definitions.last.updated.date	

		11/02/2001
51	system.id	システム ID System Id
52	tm.Documentation.DefaultSymbology	デフォルトのコードを示す XML スニペットのファイル名 File name for an XML snippet from a map space describing the default symbology
53	tm.Documentation.OverviewScreenShot	データセットのサムネイル画像のファイル名 File name for dataset thumbnail image (stored in blob field on remote server only)
54	tm.Documentation.WebPage	ドキュメントファイルのファイル名 File name for dataset documentation file (stored in blob field on remote server only)
55	tm.Documentation.ZoomedScreenShot	サンプル画像のファイル名 File name for dataset document sample image (stored in blob field on remote server only)
56	tm.Filter.BaseFilter	リモートデータセットから取得するための Where 節 Where clause applied to all retrievals from the remote dataset.
57	tm.Filter.MainTable.SQLFilters	ベースフィルタに追加する SELECT ステートメント Default filter statements for user to select for addition to base filter 【重複可】
58	tm.Generalise.FieldName	ベクターデータセットからのフィーチャーのセットを示すフィールド名 Field used to select different sets of features from vector datasets
59	tm.Generalise.LimitsKM	ベクターデータセットから選択する km ズーム値 Values and k zoom limits for choosing generalization sets from vector datasets.
60	tm.Georeference.join_to_id	地理情報を結び付ける ECAI ID ECAI ID of dataset to which this dataset should be joined for geographic information
61	tm.Georeference.joinfield_otherdataset	地理データを取得するために結びつけるフィールド Field in the referenced dataset used to join to obtain geographic data
62	tm.Georeference.joinfield_thisdataset	地理情報を取得するために結びつけるフィールド Field in this dataset to join on in order to obtain geographic

		information
63	tm.MainTable.DateSystem	システムで使用する日付のカラム名 Data system used in date fields
64	tm.MainTable.DefaultDownloadFields	ID を含むフィールド (カンマ区切り) Comma separated names of fields, must include ID. Use this element if you want a TimeMap client to download only certain fields from a MySQL data table and not others. Leave blank to allow a client to download all.
65	tm.MainTable.Fields.AlternateNames	カラムの省略名 Long, short and user-defined field names <b>【重複可】</b>
66	tm.MainTable.Fields.Date.HighDatelimit	領域時間 (上限値) を示すカラム名 The column in the data table that contains an end date for each object. Use this if objects in your table represent a time range rather than a unique event.
67	tm.MainTable.Fields.Date.LowDatelimit	領域時間 (下限値) を示すカラム名 The column in the data table that contains a start date for each object. Use this if objects in your table represent a time range rather than a unique event.
68	tm.MainTable.Fields.Date.SingleDate	単一時間を示すカラム名 The column in the data table that contains a single date value or ('time stamp') for each row. Use this if the objects in your data table represent a unique event rather than a range.
69	tm.MainTable.Fields.Description	マウスオーバー時に表示するカラム名 The column in the data table that contains a description or name for each object. This value will appear in TimeMap as the 'mouseover'
70	tm.MainTable.Fields.Ftrid	どのようなオブジェクトと関連されている示す ID のカラム名 The column in the data table that identifies how objects are related – for example, in a table of dynasties all instances of a particular dynasty might have the value '3' in this column.
71	tm.MainTable.Fields.ID	ユニークな ID を示すカラム名 The column in the data table that contains a unique identifier for each row (the 'primary key')
72	tm.MainTable.Fields.mapobj.MaxX	マップオブジェクトの北側リミットを示すカラム名 The column in the data table that contains the 'northern' limit of a map object. If you are creating metadata for a simple table



		where the only spatial data is 'bounding box' information, this elements is mandatory; otherwise, leave it out.
73	tm.MainTable.Fields.mapobj.MaxY	マップオブジェクトの東側リミットを示すカラム名 The column in the data table that contains the 'eastern' limit of a map object. If you are creating metadata for a simple table where the only spatial data is 'bounding box' information, this elements is mandatory; otherwise, leave it out.
74	tm.MainTable.Fields.mapobj.MinX	マップオブジェクトの南側リミットを示すカラム名 The column in the data table that contains the 'southern' limit of a map object. If you are creating metadata for a simple table where the only spatial data is 'bounding box' information, this elements is mandatory; otherwise, leave it out.
75	tm.MainTable.Fields.mapobj.MinY	マップオブジェクトの西側リミットを示すカラム名 The column in the data table that contains the 'western' limit of a map object. If you are creating metadata for a simple table where the only spatial data is 'bounding box' information, this elements is mandatory; otherwise, leave it out.
76	tm.MainTable.Fields.Xcoord	X 軸をあらわすフィールド名 The column in the data table that contains longitude value for point object. Use this if you are creating metadata for a simple 'table of points' with a column of latitude values and a column of longitude values; otherwise, leave it out.
77	tm.MainTable.Fields.Ycoord	Y 軸をあらわすフィールド名 The column in the data table that contains latitude value for point object. Use this if you are creating metadata for a simple 'table of points' with a column of latitude values and a column of longitude values; otherwise, leave it out.
78	tm.MainTable.TimeFieldType	タイムスタンプのフィールドのフォーマット Type and format of field(s) used for storing timestamp
79	tm.MapLinks.URLMaskToThumbnail	関連づくリソースのサムネールのための URL マスク URL mask for linking to a thumbnail view of a linked resource
80	tm.serv.database	データベース名 Database name on server (SQL datasets)
81	tm.serv.host	サーバのホスト名もしくは IP アドレス Host name or IP address for server
82	tm.serv.mimeformat	出力フォーマット Format for output (e.g. mime type)
83	tm.serv.opsys	サーバの OS

		Operating system for server
84	tm.serv.path	サーバのデータベースもしくはファイルのパス名 Path to database or file on server
85	tm.serv.port	サーバのポート Database or other port on server
86	tm.serv.readpassword	サーバ上のデータベースもしくはファイルアクセスに必要なパスワード Password (read access) for file or database on server
87	tm.serv.readuser	サーバ上のデータベースもしくはファイルアクセスに必要なユーザ名 User name (read access) for file or database on server
88	tm.serv.script	スクリプト名(MrSID 用) Script name where different from default (for MrSID)
89	tm.serv.SIDclient	MrSID クライアントのディレクトリ MrSID client directory for SID image
90	tm.serv.SIDimage	
91	tm.serv.type	サーバを定義するドライバー名 Driver name for server definition
92	tm.serv.url	サーバの URL URL to file on server
93	tm.serv.version	サーバのバージョン Server version number or string
94	tm.Style.backcolor	シンボルの背景色 Background color for symbols and fills
95	tm.Style.FillStyle	デフォルトのフィルスタイル Default fill style for polygons
96	tm.Style.font	デフォルトのフォントスタイル Default font style for symbols or labels
97	tm.Style.forecolor	シンボルの色 Foreground color for symbols and fills
98	tm.Style.glyph	デフォルトシンボルに置き換わる記号 Glyph to use in place of default symbol
99	tm.Style.LineColor	デフォルトのアウトラインの色 Default color for lines/Polygon outlines
100	tm.Style.LineStyle	デフォルトのアウトラインのスタイル Default style for lines/polygon outlines
101	tm.Style.LineWidth	デフォルトのアウトラインの幅 (pixel)

		Default lines/polygon outlines width in pixels
102	tm.Style.size	デフォルトのフォントサイズ Default font size in points for symbols and labels
103	tm.Style.symbol	デフォルトのシンボルスタイル Default symbol style
104	tm.sys.MainTable.mapobj.GeoBlob.fieldname	空間情報をもと <b>SQL</b> データベースのカラム名 The column in an SQL database that contains spatial data in binary 'blob' format( usually GEOBLOG)
105	tm.sys.Remote.SQLFromRemote	データセットを作成するための <b>SQL</b> クエリー The SQL Query used to create the local cached dataset
106	tm.sys.Remote.UpdateFromRemote	データセットの更新方法 How often the local dataset is updated – 0 = Manual , 1 = AskStart , 2 = ForceStart , or the number of minutes
107	tm.TableName	データテーブルの名称 The name of the data table that this metadata refers to ( or of the shape file, but without the .shp extension)
108	tm.TimeVaring	タイムスタンプの手法 Method for time stamp – NoDateFiled, UniqueDate, UniqueRange, InstanceDate, InstanceRange
109	tm.wms.layers	<b>WMS</b> マップで使用するレイヤ Layer to be used in WMS map
110	tm.wms.styles	<b>WMS</b> マップで使用するレイヤスタイル Layer styles to be used in WMS map (optional)
111	tm.Worldfile	画像ファイルのワールドファイルの内容 Contents of world file accompanying an image file dataset
112	tm.Worldfile.mrsid.levels	<b>MrSID</b> ファイルのレベル数 Number of levels (i.e. resolutions) in MrSID file – level 0 = original resolution
113	tm.Worldfile.neatline.xmax	スキャンされた地図の図郭線の右側の X 値 X value of right side of a neat line on a scanned map
114	tm.Worldfile.neatline.xmin	スキャンされた地図の図郭線の左側の X 値 X value of left side of a neat line on a scanned map
115	tm.Worldfile.neatline.ymax	スキャンされた地図の図郭線の上部の Y 値 Y value of the top of a neat line on a scanned map
116	tm.Worldfile.neatline.ymin	スキャンされた地図の図郭線の下部の Y 値 Y value of the bottom of a neat line on a scanned map
117	tm.Worldfile.Projectionfile	プロジェクトションファイル Contents of projection file (*.prj) accompanying a dataset

		(ESRI standard)
118	tm.Zoom.MaxSizeKm	指定した幅(km)以上になると非表示 Maximum width of map in km above which layer is disabled.
119	tm.ZoomMinSizeKm	指定した幅(km)以下になると非表示 Minimum width of map in km below which layer is disabled.

## 9. 用語集

表 9-1 用語集

項番	項目	解説
1	ラスタ画像	JPG や GIF 画像など
2	ワールドファイル	ラスタ画像を地図上に表示するため、拡大縮小、原点移動からなるパラメータを書き込んだファイル